

よねざわ

第105号

発行／米沢市議会
米沢市金池5-2-25 ☎22-5111(代)
発行年月／平成20・5・1

市議会だより



松岬神社

上杉神社は、はじめ上杉謙信と上杉鷹山を祭神として、明治5（1872）年に神号が許され、同9年に米沢城本丸跡（現在地）に社殿が建てられました。同35年、上杉神社が別格官幣社に昇格した際、祭神は謙信のみとなり、鷹山は別に祀られて松岬神社と称しました。大正元（1912）年、上杉神社の手前に松岬神社の新殿が建てられ、同12年には鷹山に加えて上杉景勝を祭神としました。さらに、昭和13（1938）年に米沢市制施行50年を記念し、景勝、鷹山をそれぞれ補佐した直江兼続や、竹俣当綱、荏戸善政、細井平洲（鷹山の師）も祀られ現在に至っています。



直江兼続シリーズ④

平成20年3月定例会

	ページ
◆3月定例会の総括	2
◆代表質問・一般質問	3
◆常任委員会の審査から	10
◆予算特別委員会の審査から	12
◆請願・スポット・あとがき	14

平成20年度一般会計予算

3月定例会
2月28日～3月25日

303億8000万円を可決

対前年比 2.6%減



平成20年3月定例会は、2月28日から3月25日までの26日間の会期で開きました。

初日の本会議は、今年で30回目となる恒例の和服着用の「きもの議会」で開会しました。はじめに専決処分事件1件について承認、諮問案件1件について同意した後、市長から平成20年度の市政運営方針の説明があり、また、南原財産区管理委員の補欠選挙がありました。

3日と4日には、市政運営方針に対して、5会派の代表質問が、5日には一般質問が行われ、議案47件及び請願4件を各委員会にそれぞれ付託しました。

7日に総務文教常任委員会、10日には民生常任委員会、11日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願について審査を行いました。

6日と、12日から19日までの間に、予算特別委員会を開き、補正予算7件については、6日に審査を行い、13日の本会議で原案の通り可決し、同日議員発議の意見書1件を可決しました。また、平成20年度の各会計予算については、5日間にわたり一般会計予算（303億8000万円）を中心に特別会計予算11件（225億9156万5千円）と企業会計予算3件（104億5249万5千円）のあわせて15件について審査を行いました。最終日（25日）の本会議では、各委員長報告が行われ、議案40件をすべて原案のとおり可決し、議員発議による「平成20年度米沢市一般会計予算」に対する附帯決議案は否決しました。また、請願4件については、採択3件、不採択1件となりました。

最後に、議員発議の意見書5件及び「米沢市手数料条例の一部改正について」「平成19年度米沢市一般会計補正予算（第8号）」「米沢市副市長の選任について」の議案3件を可決し、3月定例会を閉会しました。

代表質問

「市政のここが聞きたい」

3月定例会では3・4日に各会派の代表が市長の市政運営方針に対し質問を行いました。ここでは、1時間30分～2時間の持ち時間から主なものを取り上げております。詳しくは6月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館、米沢市議会ホームページをご覧ください。

自公クラブ



暫定税率の延長、行財政改革の進捗、 中学校給食の実施など

自公クラブ代表 吉田 芳一 議員

暫定税率が廃止された場合、山形市では7億円を超える歳入減が見込まれ、道路の整備や学校の改築にも遅れが生じるとしている。また、県知事も暫定税率の延長を求めているが、市長の考えと廃止された場合の本市予算に与える影響はどうか。

〔市長〕 暫定税率が廃止されれば、平成20年度当初予算ベースで3億6千万円強の減収が見込まれ、金池5丁目春日4丁目線道路改良事業、米沢駅南北線道路改良事業に影響がでます。東北中央自動車道福島米沢北間の整備は、10年遅れると予想されています。この道路整備は、企業誘致や産業発展のために本市にとって欠かせない事業ですので、暫定税率は廃止されないよう望みます。

職員定数削減の進捗状況は、〔総務部長〕 職員定数の削減は、1人につき単年度で700万

円の財政効果を見込んでいます。平成22年4月1日までに平成17年4月1日の職員数772人と比較して、5年間で55人以上の職員削減を目指すもので、現在27人削減し約50%の削減実績です。残り3年で最低目標値の減員は十分可能だと見込んでいます。

ISO14001 導入の効果は

ISO14001の導入の効果と今後の方向性は

〔市民環境部長〕 17年度から3年間の経費は約9338万円で、削減効果は1304万円です。担当職員の人件費を加えますと歳出超過になります。環境負荷の軽減を図る意味からは大きなメリットがあったと考えます。20年度は予算案として169万円計上していますが、21年度以降は

外部審査を受けずに本市独自のシステムとして構築することを含めて現在検討中です。合併した場合の財政シミュレーションはどうか。

〔企画調整部長〕 置賜広域合併勉強会の試算によると、3市5町の平成18年度普通会計決算データを単純合計した場合の経常収支比率は93・3%、財政力指数は0・43程度となります。職員定数や議員定数について類似団体との比較では、議員が100人弱、職員が700人弱の減員となるようです。

人件費の圧縮やまちづくりにかかわる投資的経費をどの程度にするかなど踏み込んだ試算はまだ行っていない。

平成20年4月から第6中学校と南原中学校で親子方式による中学校給食を実施する予定であるが、県内の状況をみると山形市、東根市、朝日町、最上町、大石田町がセンター

方式で、新庄市、寒河江市、山辺町、河北町、飯豊町、遊佐町が民営化の方向で、親子方式を検討しているのは村山市だけである。

1食当たりの経費を比較すると、センター方式の山形市は231円、本市は354円（自校方式の小学校と中学校親子方式を実施した場合）で、その差は123円ある。本市の小学校と中学校を合わせると1日9千食、年間では180万食となり、1食当たり仮に1000円の経費の差ができれば、年間約2億円のコスト削減ができる。教育委員会の試算でセンター方式の初期投資は、11億2千万円とみており10年弱で償却できるのではないか。

よって給食の方式については、今後ランニングコストを含めた十分な検討を行うべきであると考えます。

施政方針について



そうせいかい
創政会代表 木村 政 信 議員

市民協働の

条例について

市民協働の条例を作る際は、より多くの市民の意見を聞いて作成すべきと思うがどうか。

〔企画調整部長〕 協働推進市民会議において、フォーラムなど理解の求められる企画も検討してまいります。

東北組込み込み産業クラスターの主軸足り得るのは米沢に他不ならない。指導者を招いて専門講座を立ち上げ、人材を育成すべきがどうか。

〔市長〕 自動車関連企業の技術者や外部教育機関の講師を迎えて、セミナーやカーインテリジェント人材育成センターへの技術者派遣などを検討してまいります。

「政治は外を正すことによつて内をも正そうとするものだが、教育はこれに反して内を正すことによつて外をも正そうとするものだ」との言葉があるが、米沢の教育はどうか。

〔教育長〕 今日のような状況の中で、子どもたちへの教育が特に大切です。幼児教育まではなかなか及びませんが、一人一人の豊かな心や感性が

基礎的な力であり、特に読書はそれを身につけていくために不可欠な活動だと認識しております。

農業振興に地産地消の視点が見られない。地域経済の循環は現状切実に捉えるべき課題と思うがどうか。

〔市長〕 新鮮で安全な食生活の実現と農業者の自信と生産意欲を高める取り組みであり、米沢市地産地消推進計画に基づいて推進してまいります。

中学校給食で

食育の推進

中学校給食の中で食育を推進するとしているが、食育担当が農林課になっているのはどうしてか。

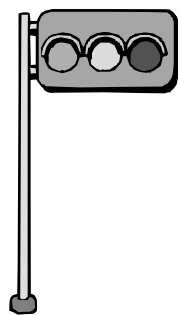
〔産業部長〕 庁内で検討した結果、県の担当が農林水産部であることや、地産地消・食料自給率の向上などを考え、窓口を農林課として関係各課で連携して当たることに決めたものです。

勤めを辞めてまで家族の看護や介護をしておられる方々にこそ手厚い補助がなされれば、家族制度と共に命の継承もなされると思うがどうか。

〔健康福祉部長〕 家族介護者交流激励支援事業や経済的負担軽減の為、給付や助成の各種事業を行っております。

国道13号の拡幅に伴い、万世町片土地内の国道13号と国道121号の交差がひどく不便になる。万世橋成島線（以下、「万成線」という。）の目どが立っていればいいのだが、そうでない現状では、市が主体的に考えた道路造りを提案すべきと思うがどうか。

〔建設部長〕 現在の交差点が将来の交通需要に対応出来ないことや、万成線の片子以西の整備が長期間を要するため、13号線と万成線の交差点のあり方や、万成線と万世町関根線の道路選定につきましては、国、県、市と十分に協議をして決定したものです。両線とも、用地買収や家屋移転等進んでおりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。



議会

カレンダー

▼1月▲

10日 議会だより編集委員会
11日 議会運営委員会
各派代表者会

16日 議会だより編集委員会
21日 各派代表者会
24日 総務文教常任委員会管内視察

25日 総務文教常任委員会
28日 民生常任委員会
29日 産業建設常任委員会
31日 各派代表者会
市政協議会

▼2月▲

4日～5日 議会運営委員会
管外行政視察（栗山町、千歳市）

6日 全員協議会
7日 各派代表者会
8日 議員研修会

14日 各派代表者会
議会運営委員会
15日 市政協議会

18日 総務文教常任委員会
19日 民生常任委員会
20日 産業建設常任委員会
21日 各派代表者会
市政協議会

財政の健全化と産業の 振興・暮らしやすい街づくりのために



いっしんかい
一新会代表 島 軒 純 一 議員

「集中改革プラン」の実績は、また「自治体財政健全化法」適用を受け、これまでの「できるところからやる」という改革から「選択と集中」が必要だが何を選択し何に集中するのか。

〔市長〕平成19年度の削減効果は5億円程度です。また第2期集中改革プランの事業は、すべて計画に沿って行うことが原則ですが、財源を確保しつつより集中すべき事業を選択し取り組んでいきます。

下水道事業は、一般会計からの繰入額も約13億円（20年度予定）と多く、財政負担が重くのしかかっている。自治体財政の健全化のため、下水道事業を見直し浄化槽に切りかえ計画区域を見直す考えはあるか。

〔建設部長〕都市計画決定している基本計画区域については、一般家庭排水だけでなく、工場や事業場などの排水も受け入れられるなど効率的であり、下水道の整備が必要ですが、なお下水道将来構想区域は、基本計画区域完了1、2年前に行うとしていた見直しを前倒しし、平成21年度に予定している事業計画変更認可時にやりたいと考えています。

遅れている中心市街地活性化

化基本計画の策定や、市民バスの大胆な拡充など、市長が目指すコンパクトシティへ向けた政策展開していくのか。

〔市長〕今後の都市計画は拡大大方向ではなく、既存の市街地を生かしたコンパクトシティを目指すべきだと考えております。また中心市街地活性化基本計画の策定については、平成21年の1月ごろに最終の基本計画を取りまとめ、年度内に申請ができるよう進めます。市民バス拡充の検討も行っています。

本市の産業振興について（農業）第2期実施計画においてどのように作付け誘導していくのか。（商業）将来へ向けたどのような商業集積を目指していくのか。（工業）企業へ正規社員の雇用を増やす働きかけが必要では。（観光）地元産業振興に結びつく観光政策は。

〔産業部長〕（農業）収益性の高い園芸作物への誘導を図ります。（商業）コンパクトシティの理念も踏まえ本市独自のあり姿や、大型店にはない消費者と心の通い合う商店づくりを進めたいと考えています。（工業）各企業に対して正社員化や正社員採用の要請活動を行い、安定的な雇用

に努めて行きます。（観光）「天人」をきっかけとして産業界との連携を模索して行きます。

保育事業と子育て支援事業（学童保育など）に関し、公的施設の複合利用が財政上有効と思うがどうか。

〔市長〕管理している機関との十分な検討、協議をしながらできるだけ前向きに進めていきたいと考えています。

中学校給食の供給方式について、安心安全を担保しつつよりコストの安い方式（センター方式など）について、議会の場で議論すべきではなかったか。

〔教育指導部長〕供給方式の決定に時間が掛かり、議会での議論が十分なされる機会、時間がなかったことは大変申しわけなく感じています。

今後は「親子給食検証委員会」を設置し、検証して行きます。



中学校給食

25日 議会運営委員会
28日 本会議（招集日）

▼3月▲

3日	本会議（代表質問） 議会運営委員会 総務文教常任委員会 民生常任委員会
4日	本会議（代表質問） 市政協議会
5日	本会議（一般質問） 予算特別委員会（補正）
6日	総務文教常任委員会
7日	民生常任委員会
10日	産業建設常任委員会
11日	予算特別委員会 （1～2款）
12日	各派代表者会
13日	本会議 予算特別委員会 （3～5款）
14日	予算特別委員会 （6～8款）
17日	各派代表者会 予算特別委員会 （9～13款・歳入）
19日	議会運営委員会 （特別・企業） 議会運営委員会 市政協議会
21日	議会だより編集委員会 本会議（最終日） 各派代表者会
25日	議会運営委員会

市長はなぜこの時期、 この規模で合併を推進するのか

し 民 平 和
市民平和ネット代表 我 妻 徳 雄 議員



市長は「置賜を一つとする広域合併を推進する」として、特例市となり合併の特例等に関する法律を有効に活用しても行財政基盤の強化は難しい。また、置賜全域の規模で合併した場合、日本一広い市の誕生となり、行政効率及び住民の利便性の低下につながる。この時期、この規模で合併するメリットは非常に少ないと思えるが、どうして市長は合併を推進するのか。

〔市長〕合併によって誕生する新しい自治体の行政組織や、住民サービスのあり方、まちづくりの方向性など、総合的に検討がなされて、初めて合併のメリットが明確にくるものと思っています。新しい地方分権の動きが本格化しようとしているなか、市町村合併は避けては通れない課題と考えております。

本市の実質公債費比率は平成18年度決算で21・8%と高い数値になっている。早期健全化基準の25%までは達していないものの18%以上になると地方債の発行に県の許可が必要となる。市長は本市の財政状況をどのように認識し、各種行政施策を進めるのか。

〔市長〕本市の実質公債費比率は全国都市の中でも高い数

値となっています。このため公債費負担適正化計画を策定し、平成26年度決算までに18%未満となるように取り組みを行っています。また、新たな行政施策に対応するためには、行財政改革に徹底して取り組み、財源を捻出することが必要です。健全な財政を維持しながら、住民福祉の向上に努めてまいります。

総合公園拡張用地の 活用は

総合公園拡張用地（6万5821㎡、地価13億2440万円）の活用をどのように考えているか。

〔企画調整部長〕本市の財政状況を考えれば、直ちに米沢市土地開発公社が先行取得している総合公園拡張用地を公共事業用地として買い戻すことは難しい状況です。現時点での具体的な活用計画は立っていません。第2期実施計画のサッカー場整備・建設検討の結果「総合公園内にサッカー場を整備すべき」との方向性が出されれば、買戻しを計画的に進めていくことができると考えております。

勤務医不足の 対応策は

地域や診療科における医師の偏在とともに、救急外来など多忙な勤務を強いられる勤務医不足が顕著であるが、その対策は。

〔病院事務局長〕本市の救急医療体制については、市内の3病院で夜間休日の病院輪番制による診療体制をとっています。当院のみならず他2病院でも医師確保が困難になってきていることから、新年度には、米沢市医師会でも平日の夜間救急を担う態勢を新たに整備する予定です。地域の医療機関による取り組みと連携を図りながら、地域の救急医療を確保してまいります。また、市民の皆様に適正な医療機関の利用の仕方、病院の現状について一層のご理解をいただく必要があります。広報を初め、出前講座などさまざまな機会をとらえて周知を図っていきたいと考えております。



本市を
視察していただきました

▼1月▲

24日 千葉県銚子市議会
（項目…行財政改革）

▼2月▲

6日 長野県千曲市議会
（項目…市民参加の観光イベント）

29日 沖縄県糸満市議会
（項目…市民バス）

市議会の番組放映について

市議会本会議の様子は、NCV（アナログ放送は22チャンネル・地上デジタル放送は092チャンネル）にて放映しておりますので、是非ご覧ください。

新年度の市政運営で 主要9点について



にほんきょうさんとうしぎだん
日本共産党市議団代表 高橋 壽 議員

〔仮称〕米沢市協働推進条例
を来年3月までに策定する予
定だが、どのように仕上げて
いくのか。

〔市長〕条例では「協働」の
理念、担い手の「主体」を明
らかにし、協働を進めるため
の仕組みをつくりたいと考え
ております。

非正規雇用が増え社会問題
化しているが、本市の実態は、
〔産業部長〕今後、実態調査
をしたいと考えております。

平成18年に成立した「有機
農業の推進に関する法律」は
今後、地域農業のあり方に展
望を与えると考えているがどうか。

〔産業部長〕平成20年度に県
が定める推進計画と合わせ、
本市でも安全かつ良質な農産
物に対する消費者の需要に対
応した農産物の供給を推進し
ます。

子育てと教育の課題につい
て①東部ひかり保育園の「民
営化」は凍結すべき。②学童
保育施設は行政の責任で確保
していくべき。③軽度発達障
がい児の「支援員」を各学校
に配置すべき。④「教職員の
多忙化」の本市の解消策は。

〔健康福祉部長〕①行財政改
革推進市民会議などで民営化
が総合的に適切な方策とされ
たものです。②学校など公的

施設の利用は、前向きに進め
てまいる考えです。

〔教育長〕③新年度は、適応
指導補助員4名、教育相談員
2名を配置する予定です。④
行事の精選と見直し、会議の
効果的開催、※校務のITC
化の推進、人的物的サポート
の充実に努め、教職員の多忙
化の解消を進めております。

新エネルギービジョンの具
体策として、改築される上郷
小学校に、ペレットストーブ
導入をしてはどうか。

〔教育長〕会議室などへの一
部導入を研究してみたいと考
えております。

高齢者医療と生活保護行政
について①後期高齢者医療制
度は市民の声が届かず改善す
べき。②本市が新年度から実
施する「生活保護自立支援プ
ログラム」は、全国で「自立」
と称し「保護の辞退」を強要
する事件が発生しているが本
市ではどうか。

〔市民環境部長〕①広域連合
議員は県全体の代表者であり、
意見は反映される仕組みと考
えています。

〔健康福祉部長〕②「支援プ
ログラム」は、支援者の経済
的、社会的自立をめざすもの
で、積極的に活用していく考
えです。

市町村合併と消防の広域化
の問題について①合併につい
て、市民の意思をどう汲み
取っていくのか。②県は、置
賜を一消防に集約する計画だ
が、本市の考えはどうか。

〔市長〕①合併の判断は、市
民の意見・意向を踏まえるこ
うのが基本認識です。論議
が本格化した段階でその方法
は考えていきたいと考えてお
ります。

〔消防長〕②3市5町の関係
者及び関係部局間で、メリッ
ト、デメリット等を含め協議
を重ねながら対応してまいり
たいと考えております。

指定管理業者で働く人の低
賃金は問題であり、労務単価
を適正にすべきではないか。

〔企画調整部長〕指定管理者
と雇用者の労務契約であり、
市が関わることは難しいと考
えております。

平成19年の「財政健全化法」
は、自治体にさらにリストラ
を迫るものであり、新年度か
ら住民サービスの削減を始め
た自治体も出てきているが、
本市ではどうか。

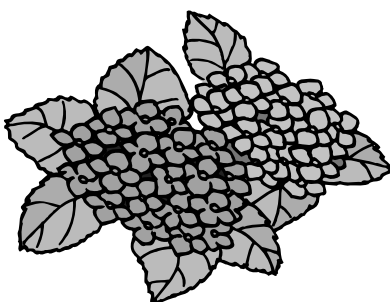
〔市長〕本市が「健全化法」
の適用を受ける可能性は低く、
この法律の施行による住民
サービス低下等の影響は出な
いと考えています。

6月定例会日程 (予定)のお知らせ

- 11日 開会（本会議）
- 13日 一般質問
- 16日 一般質問
- 17日 一般質問
- 18日 総務文教常任委員会
- 19日 民生常任委員会
- 20日 産業建設常任委員会
- 23日 予算特別委員会
- 26日 最終日（本会議）

請願の提出期限は6月4日
（水）午後5時の予定です。

日程は変更されることがあ
りますので、傍聴の際は議会
事務局（22-5111 内線
5623・5624）までお
問い合わせください。



一般質問

「市政のここが聞きたい」

3月定例会では7名の議員が質問を行いました。ここでは、30分間の持ち時間から主なものを取り上げております。

詳しくは6月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館、米沢市議会ホームページをご覧ください。

福祉農園について 市政を質す



渋間かすみ
議員

福祉を辞書で引くと「幸福、物的、経済的、文化的欲求の充足」とある。政治の目的は幸福の実現であり、福祉とは政治の目的そのものといえる。また、行政の専門性だけでは解決できない課題をゼネラリストである議員の特性を活かして解決する可能性がある。農業分野では担い手不足であり、福祉分野では障がい者の雇用促進が課題であるが、両者の課題解決のひとつとして「福祉農園」を提案するがどうか。

〔市長〕 農業と福祉が結びつき、発展すれば大変望ましいことで、積極的に調査、研究を進めてまいります。

人口減少時代を見据えて、障がい者や高齢者が雇用の担い手になっていただけるよう、今から積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

〔市長〕 あらゆる手だてをとって人口減少社会に対応していきたいと考えております。

教育委員会として不登校・いじめ問題への対策は



鈴木あきお
議員

不登校、いじめの現在の状況と学校を含めた教育委員会としての指導、対応は。

〔教育指導部長〕 不登校児童生徒は平成20年1月現在、小学校14名、中学校76名であり、平成14年度をピークに減少しましたが18年度増加に転じ、19年度もやや増加傾向にあります。いじめ発生件数は、平成19年度の延べ件数で、小学校7件、中学校20件です。不登校対策として、米沢市適応教室を開設し、不登校専門員をすべての中学校に配置するなど、子どもが相談しやすい環境づくりに努めています。いじめ問題の対応・指導は早期発見、早期解決が重要であり、生徒からの小さなサインも見逃さない指導を行っています。

長期的視点に立ち流雪溝整備をする上で整備の障害となっている水利権の問題は。

〔市長〕 冬期間の渇水により河川水量が少ないことから新たに水利権を与えられる河川はなく、新規の認可水利権の取得は困難です。

障害者自立支援法に 関する諸施策について



小久保広信
議員

施設に入所していた障がい者が地域へ移行してくるが、様々なサポート体制や各種団体・事業所との連携や協力体制をどう行っていくのか。

〔健康福祉部長〕 地域に移行する際の支援は、施設職員はもちろん、行政担当者もケアマネジメント能力を求められています。行政だけでなく、医療、福祉、労政、教育などの横の連携を強め、障がいのある方が地域での生活に支障なく安心できる支援体制を進めて行きたいと思っています。

米沢市民の約4800人が何らかの障がいを持っている。障がいのある人となない人が共に暮らすことの出来るまちづくりのための地域自立支援協議会をどう立上げていくのか。

〔健康福祉部長〕 早急な構築が必要ですが、実のある協議会にするため、核となる行政と相談支援事業者との勉強会から立ち上げ、小さな組織からステップアップを図りながら、市内の関係機関が全て参加できる組織にしたいと考えています。

車椅子利用者の方も傍聴できるようになりました

本会議場に昇降機を取り付ける改築工事を行い、車椅子利用者の方が傍聴できる席（付き添いの方を除き約5名分）を作りました。市役所正面玄関の総合案内にお声がけいただきますと、議会棟へ職員がご案内いたします。利用なさる方は、事前に議会事務局に連絡をいただけますと円滑にご案内することができます。

なお、定例会は6月、9月、12月、3月に開会される予定です。どうぞご利用ください。

議会事務局 TEL 22 - 5111（内線 5623・5624）

本会議場に設置された昇降機





鳥海 隆太
議員

放置自動車の新規条例と
歩行者の安全確保、観光対策

放置自動車撤去の状況は

〔建設部長〕 放置自動車7台は、ほとんどの方から撤去の同意を得ています。

〔市民環境部長〕 新規条例として、平成20年4月1日の施行を考えています。

景観計画の進捗状況は

〔建設部長〕 アンケートを分析し、19年度末までに素案を作成する予定です。20年度は住民と合意形成を図り、21年度には、景観計画の策定及び景観条例の制定を目指します。

歩行者の安全確保の現状は

〔建設部長〕 歩行者空間を確保する手段として、側溝や流雪溝への蓋架け、電柱を民地に移設するなど可能な限り努力します。歩道排雪は、除雪計画に組入れ歩行者の安全確保に努めます。

地域活動への行政支援は

〔市長〕 活動の経緯や公益性を鑑み、援助についてはケース・バイ・ケースと考えます。観光対策として米沢馬車街道の策定は

〔産業部長〕 民間の実施が判った時点で検討いたします。



佐藤 忠次
議員

高速道路沿線に「道の駅」

東北中央自動車道、米沢・米沢北間も、平成19年度には中心杭打ちが終わり、平成20年度は実施設計に入り、一部買収も始まると聞いている。国土交通省は昨年の11月から年末にかけて地元説明会を開催した。このような中、細原地区からは、沿線に「道の駅」を造ってほしいという陳情書が市長あてに提出されているがどう考えるか。

〔市長〕 道の駅を設置することとは、現時点では難しい点が多いと考えていますが、地元の意向も踏まえ国土交通省と協議したいと考えています。



田沢の道の駅「なごみの郷」



小島 卓二
議員

温室効果ガスの
削減計画は

温室効果ガスに対して本市は、どのような削減計画を持って取り組んできたのか。また今後より一層の削減強化に取り組むべきではないか。エコ計画の徹底したまちづくりは今後どうあるべきか。

〔市長〕 改善のための施策として、電気・ガソリン・コピー

用紙などの資源エネルギーの節減、ゴミ分別の適正化のための環境教育の推進、緑地の拡大、公共事業における再生材の使用、建築廃材のリサイクルの推進などについて実施計画として策定し、取り組んできました。今後については、家庭、公共施設及び民間事業での省資源、省エネルギーの推進、太陽光や雪氷熱などの新エネルギーの導入促進などを積極的に実践するとともに、啓発を行なってまいります。また、家庭での省エネルギーの実践に重要な環境家計簿の活用についても検討しながら、ゴミ処理経費の削減、住民負担の軽減に努めてまいります。



白根澤澄子
議員

「米沢市男女共同参画
基本計画」の推進体制は

男性、女性の別なく誰もがその持てる能力や意欲を生かすことができる社会をめざす「米沢市男女共同参画基本計画」の実施に最も重要なのは、市役所内の推進体制を確立することである。男女共同参画課を置くか、専任の担当者の配置が必要ではないか。

〔市長〕 専門の担当課、係の設置までの考えはありませんが、関係各課が連携をとりながら横断的に計画を推進する体制をとってまいります。

米沢市の国民健康保険被保険者証の有効期間を1年から2年にのばし、実務の負担軽減と経費の削減を図ってはどうか。

〔市民環境部長〕 被保険者証の裏面に医療保険制度改正に伴う注意事項等を記載し、各種情報を被保険者の方にお伝えする仕組みにしており、1年の期間を2年とすることは、現状では不具合ではないかと考えております。

市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だよりなどを紹介しています。アドレスは次のとおりですのでぜひご覧ください。

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/gikai/gikaihome.html>

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 22 - 5111 (内線 5623・5624)

議会を傍聴してみませんか

本会議、委員会ともに、受付で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。次回の定例会は6月に開催されます。

常任委員会の審査から

総務文教

▼権利の放棄について

本案は、置賜広域ふるさと市町村圏基金を取り崩し、その権利を放棄することにより、置賜広域行政事務組合で整備する広域交流拠点施設に対する分担金の支払いに代えようとするものです。

【委員】高畠町の住民団体から各市議会議長へ質問書が出されているが、その対応は、【総合政策課長】質問状に対しては、高畠町からこの団体に対し、回答済みです。

また、2月25日に余熱利用施設の事業目的等々について高畠町長並びに置賜広域行政事務組合の理事長である米沢市長との共同会見を行い理解を求めているところだ。

【委員】アクセス道路の整備に関して建設費用の概算やその負担割合等は。

【企画調整部長】アクセス道

路の要望については、早急に取り組むべき課題として捉えています。費用については構成市町に新たな負担を求めなければならず、分担方法やアクセス道路として機能を果たすルートの設定などは、今後、置賜広域行政事務組合において議論すべき新たな課題です。

▼米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について

本案は、三沢東部小学校笹原分校を廃校しようとするものです。

【委員】休校中の学校施設が複数あるなか、この小学校のみが廃校措置となる理由は。

【教育指導部長】この分校については、土地・建物ともに活用したいとの申し入れがあり、それを受けて、このたびの学校としての廃校手続きを行うものですが、他の分校については、廃校処分によって、建設時に係る補助金を返還する必要が生じることから、処分制限期間の満了に合わせ、

順次、廃校処分をしていく計画です。



廃校になる

三沢東部小学校笹原分校

3月7日～11日に開かれた常任委員会から、質疑の主なものをお知らせします。

民生

▼米沢市放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例の設定について

本案は、市有地等における放置自動車を除去することにより、市民の快適で安全な生活環境の保全を図ること等を目的として放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関し必要な事項を定めようとするものです。

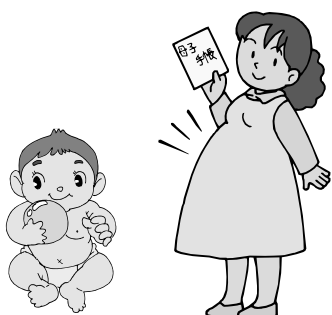
【委員】新たに条例化するメリットはどこにあるのか。

【環境生活課長】市役所駐車場、市立病院駐車場など、既存の条例等が適用されない土地に放置された自動車等を適正に処理できるようにすること、市有地等に自動車を放置すること自体がいけないことなどというような市民意識の高揚による防止効果の2つのメリットがあります。

▼妊婦健診の公費負担を拡充できるよう国の財政支援を求める意見書の提出について
本案は、妊婦健診への自治体の公費負担実施の財源として、国の財政面の一層の支援を求めて、意見書を提出しようとするものです。

【委員】平成20年度より2回から5回へと増やされる公費負担について、受診券方式でやるのか。また、本市以外で受診する場合も対象となるのか。

【健康課長】5枚つづりの受診券を印刷してお渡しする予定であり、県内の他の自治体での受診も可能です。



産業建設

▼米沢市都市公園条例の一部改正について

本案は、改修工事により機能が向上した米沢市営陸上競技場の使用料の額を改めようとするものです。

〔委員〕使用料の改正（増額）は、市民の方々の負担にならない範囲と考えているか。

〔体育課長〕これまで、本市の競技者は、他の全天候型の陸上競技場で練習していましたが、今回の改正額は、それらの陸上競技場の使用料等を勘案し算出したものであり、陸上競技場の機能が強化され、また、利用時間を延長し練習量も増えたことから、市民の方々にはご理解いただけるものと考えています。



陸上競技場

3月定例会で次のことが決まりました

- 専決処分事件の承認を求めることについて
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 山形県自治会館管理組合規約の一部変更について
- 山形県消防補償等組合規約の一部変更について
- 米沢市功績者表彰条例の一部改正について
- 米沢市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について
- 米沢市職員定数条例の一部改正について
- 米沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- 米沢市一般職の職員の給与に関する条例及び米沢市技能職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- 町の区域の設定について
- 町の区域の設定に伴う関係条例の整理に関する条例の設定について
- 米沢市特別会計条例の一部改正について
- 米沢市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の設定について
- 権利の放棄について
- 米沢市立学校の設置等に関する条例の一部改正について
- 米沢市放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例の設定について
- 米沢市福祉事務所設置条例の一部改正について
- 障害に関する用語を改正するための関係条例の整備等に関する条例の設定について
- 米沢市すこやかセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 米沢市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について
- 米沢市都市公園条例の一部改正について
- 平成19年度米沢市一般会計補正予算（第6号）
- 平成19年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第5号）
- 平成19年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
- 平成19年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算（第3号）
- 平成19年度米沢市水道事業会計補正予算（第1号）
- 平成19年度米沢市立病院事業会計補正予算（第1号）
- 平成20年度米沢市一般会計予算
- 平成20年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計予算
- 平成20年度米沢市老人保健医療費特別会計予算
- 平成20年度米沢市後期高齢者医療費特別会計予算
- 平成20年度米沢市介護保険事業勘定特別会計予算
- 平成20年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計予算
- 平成20年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計予算
- 平成20年度米沢市下水道事業費特別会計予算
- 平成20年度米沢市農業集落排水事業費特別会計予算
- 平成20年度米沢市物品調達費特別会計予算
- 平成20年度米沢市南原財産区費特別会計予算
- 平成20年度米沢市三沢東部財産区費特別会計予算
- 平成20年度米沢市水道事業会計予算
- 平成20年度米沢市立病院事業会計予算
- 平成20年度米沢市営駐車場事業会計予算
- 米沢市特別職の職員の給与に関する条例及び米沢市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正について
- 米沢市基金の設置、管理及び処分に係る条例の一部改正について
- 米沢市国民健康保険条例の一部改正について
- 米沢市国民健康保険税条例の一部改正について
- 平成19年度米沢市一般会計補正予算（第7号）
- 米沢市手数料条例の一部改正について
- 平成19年度米沢市一般会計補正予算（第8号）
- 米沢市副市長の選任について

以上の議案は、すべて承認、同意、原案どおり議決しました。

平成20年度予算を中心に

22議案を審査

一般会計

特別会計

企業会計

予算特別委員会は6日間にわたり開催し、平成19年度補正予算7件と平成20年度当初予算15件（一般会計1件、特別会計11件、企業会計3件）のあわせて22件を審査し、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

その審査の中でありました平成20年度予算における質疑の主なものをお伝えします。

ホワイトフェスタ 実施回数を 増やせないか

〔委員〕 青少年勤労意欲事業でのホワイトフェスタ、サマーフェスタは青少年に出会いの場を提供し、少子化対策の一翼を担っており、好評でもあることから予算を増額し実施回数を増やせないか。

〔市長〕 事業自体はよいと思っていますし、進めていかなければならないと思っています。

〔商工観光課長〕 今年は前年度同額の予算で年1回を2回に増やし事業を実施したところ



2007夏ホワイトフェスタ

ろです。新年度以降については、どんな催しにするかも含めて検討しておりますので、その結果を踏まえて考えていきたいと思っています。

〔委員〕 灯油に代わる農業用燃料の導入など原油価格の高騰に対する取り組み状況を伺いたい。

〔農林課長〕 県で農業用木質ペレットストーブについての実証試験を実施しておりますので、その結果を見て本市でも検討してまいりたいと考えております。

〔委員〕 消防の広域化について県内で種々議論されているが、具体的な移行時期はいつか。

〔消防長〕 消防の広域化については、消防組織法の改正によりまして、国の基本方針に基づき、平成19年度に開催の県消防広域化検討委員会の検討を踏まえ、庄内北、庄内南、最上、村山、置賜の5ブロックに分けた県の消防広域化推進計画が3月末に示されますので、それに基づき各ブロック内の市町村において有識者、議員等の参画により運用計画

広域化が検討されている消防署



を策定することになります。国で示した広域化の実現時期については平成24年度までを目途にしております。

〔委員〕 市立病院の経営は市長が地域医療をどうするかという考えに基づいて行うものと思うが、その考え方を伺いたい。

〔市長〕 公立置賜総合病院とともに置賜の中核病院として米沢市立病院を維持していくことが置賜地域全体の医療確保になると思っています。



【委員】市営体育館でのフットサル競技の使用許可、及び冬季における市営多目的屋内運動場の利用形態の見直しを検討するとしていたが、その検討結果について聞きたい。

【体育課長】市営体育館でのフットサル競技については防球ネットなど設備の整備を新年度に行い、今年の秋以降に使用できるような対応をしたと考えております。なお、曜日によって使用種目を決めておりますので、フットサル部会と年間の大会等を事前に協議しながらお貸ししたいと考えております。

また、冬季における市営多目的屋内運動場については、



多目的屋内運動場

硬式テニス、軟式テニスの使用応募が特に多いことから、団体名を登録していただき、予約抽選会を行い使用していただくことにしたところです。

【委員】平成19年度から「やまがた緑環境税」を導入して県では「森林・動物共生の森づくりモデル事業」を展開しているが、ハード施策は県で実施し、ソフト施策は交付金事業として市町村で実施するかと思うが、どのような事業か伺いたい。

【農林課長】県で実施の事業は、サル等の被害が顕著な地区に幅30m、長さ1km程度の緩衝帯をモデル的に整備し、野生生物と共生できる地域づくりを推進するもので、平成19年度は東根市で実施しております。平成20年度は本市で実施するとの内報をいただいておりますので、猿害の被害が特に大きい南原地区で整備したいと考えています。

また、交付金事業としては森林資源の利活用の推進、自然環境の保全活動の推進、豊かな森づくりの推進、及び森林自然環境学習の推進に充当することができるとのことであります。本市では新年度において

て白布の森林体験交流センターの四阿に木製テーブルの設置、中学校授業に地元産の間伐材で加工した教材の提供、地元産材を利用促進するための調査、緑の少年団の体験学習、笹野民芸館及び林業センターの内装木質化を実施したいと考えているところです。

放課後児童クラブへの行政支援を

【委員】六郷、広幡及び三沢東部など小規模小学校区での放課後児童クラブについては、放課後児童健全育成事業で国が示す利用児童数、及び指導員の雇用などの補助要件を満たした設置は困難であることから、各地域の実態を考慮した行政支援が必要だと思いがどうか。

【健康福祉部長】小規模小学校区での設置については、各地域からの要望等があれば保護者の方の御協力をいただきながら支援について努力してまいりたい。

【委員】本市で毎年実施している標準学力検査、及び昨年

から文部科学省で実施している全国学力学習状況調査の活用方法について聞きたい。

【教育指導部長】全国学力学習状況調査は、全国各地の学校が参加しており、対象は小学6年生と中学3年生、教科は国語と算数・数学の2教科に限られております。その結果については、各小中学校を通して各家庭にお知らせしておりますが、全国との関係において本市のこれまでの教育施策、教育状況などの成果と課題を把握するという意味においては非常に良かったと考えております。

また、本市内の全小中学校で実施の標準学力検査は、全国からの参加ではないため全国との関係は見ることはできませんが、現在の各学校での教育活動や子どもたちの学習成果の検査を行って、各教科の単元部分までの成果と課題などについて各家庭にお知らせするとともに、今後の学力育成指導に活かしていくというものであります。

【委員】後期高齢者医療制度の特定健康診査は、高血圧などで通院されている方を対象外としているが、健康診査に

よる早期発見、早期治療は医療費抑制につながることから、後期高齢者全員を対象とするよう山形県後期高齢者医療広域連合に要望していただきたいと思うがどうか。

【国保年金課長】通院者については、医療機関で常に身体状況を診ていただいておりますので健康診査の対象外とすることにたと聞いております。なお、今後開催される会議のなかで対象者となるよう要望してまいりたい。

【委員】発達障がいを早期に発見するのに有効だといわれている5歳児健診の実施をしてはどうか。

【健康課長】発達障がいの早期発見と共に子どもの虫歯予防等に関しては、歯科医師会から、3歳児健診が過ぎれば行政が関わる健診が少なく、虫歯の発生率が高いので5歳児健診が是非必要だというお話がありましたので、実施へ向けた受け皿づくりの取り組みを新年度に行いたいと思っております。



3月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです

採 択

- ◆食料自給率向上および食の安全・安心の確保に関する請願
(山形おきたま農業協同組合経営管理委員会
会長 神尾 伸一 外1名)
- ◆生産調整の実効性確保および再生産可能な米価に関する請願
(山形おきたま農業協同組合経営管理委員会
会長 神尾 伸一 外1名)
- ◆原油および飼料価格高騰に関する請願
(山形おきたま農業協同組合経営管理委員会
会長 神尾 伸一 外1名)

不 採 択

- ◆道路特定財源の一般財源化及び道路関係諸税の暫定税率廃止を求める意見書提出方請願
(日本労働組合総連合会置賜地域協議会
(連合置賜) 議長 金子 浩)

意 見 書

- ◆道路整備の推進と道路特定財源の暫定税率延長に関する意見書(内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣あて)
- ◆妊婦健診の公費負担を拡充できるよう国の財政支援を求める意見書(内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣あて)
- ◆乳幼児医療費助成制度への国庫補助を求める意見書(内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣あて)
- ◆食料自給率向上および食の安全・安心の確保に関する意見書(内閣総理大臣、総務大臣、農林水産大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣あて)
- ◆生産調整の実効性確保および再生産可能な米価に関する意見書(内閣総理大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長あて)
- ◆原油および飼料価格高騰に関する意見書
(内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣あて)

議員提出の意見書6件を原案どおり議決し、直ちに関係機関へ送付しました。



スポット

第30回きもの議会

恒例のきもの議会が、今回で30回を迎えました。
これは米織のPRのために、議員と市長及び市幹部職員が着物を着用して本会議に出席するもので、昭和54年2月臨時会から始められました。3月定例会の初日である2月28日には、米沢織維協同組合連合会と全日本きもの振興会から議長に感謝状が贈られました。
また、30回を記念した祝賀会では、「米沢織の現状と課題」と題した記念講演と男物きもの着付けセミナーが行われました。

あ と が き

議会だより105号をお届けいたします。3月議会は、会派ごとに代表質問をするものになっていきます。新年度に向けて何が問題でどう対処するのか、それぞれの会派が構成人数により割り当てられた時間を目いっぱい使い質問をし、市長はじめ当局と真剣に議論をしました。

特筆すべきは、今議会より質問回数制限の撤廃がなされたことです。今までは3回までとされていましたが、市民の方に議論の内容をより解りやすく伝えるための措置として採用され、傍聴された方から「解りやすい」との評価を頂きました。

これからも、少しでも市民の方に関心をもって頂ける議会運営に努めなければと思っています。

【島軒純一】

